# 求めあい、助け合える「絆」

## 福井県・若狭美浜

# 「仲間・いのち・自分」その大切さを学ぶ旅

「若狭美浜はあとふる体験」は福井県美浜町の海、山、川、湖、野という豊かな自然、その土地で育まれた生業、歴史などすべての資源を体験プログラムとし、「生きる力を育む体験交流」を目標に平成17年から教育旅行の受け入れを行っています。体験プログラムは、「漁業」「農林業」「自然・アウトドア」「味覚」「工芸・歴史文化」とバリエーションに富み、「知っている」から一歩進んで「自分でできる」ようになる技能的な高まりはもちろんのこと、体験することが目的の体験で終わらぬよう、体験を通して深められる「子ども」と「地元の人」の交流、そして、その交流から生まれる「心の高まり」を大切にしています。

高校生活をともにする仲間がそろって行ける旅行は、「一生に一度」と言っても過言ではありません。「仲間がいるから思い出に残る旅」。それが、若狭美浜はあとふる体験の修学旅行に対する思いです。福井県美浜町での共通体験を通して、仲間とともに感動や達成感を感じてください。

**お勧め体験プログラム**

**民泊体験**

ありのままの生活をともにすることで、「田舎の温かさや人とのつながりの大切さ」を伝えたいと平成20年度から民泊体験の受け入れを始めました。平成24年3月現在、簡易宿所登録軒数は約100軒、年々増加しています。

民泊は民宿と違い、受け入れ家庭も普段はどこにでもある一般的な暮らしを送っています。農家や漁師、自営業、サラリーマン、住職など職業もさまざまなら、大家族の家庭もあれば、おばあちゃんの一人住まいなど家庭の暮らしぶりはさまざま。夕方の対面の時まで、お互いに相手は分かりません。「またおいで」と声をかけ、再会することを心から願います。

修学旅行が終わり日常生活に戻った子どもたちから、卒業後の進路について報告する手紙が届いた時などは、受け入れ家庭では我が子のように彼らの成長や進学、就職を喜びます。偶然結ばれた数日間の縁がそれきりにならず、絆がつながっていくところに美浜の民泊体験の魅力があります。

**ボート体験**

「若狭美浜はあとふる体験」特有のプログラムがこのボート体験。ボートは、漕ぎ手4人と舵取り（コックス）1人が1艇に乗り込み、湖を漕ぎ進みます。「若狭美浜はあとふる体験」のボートの特徴は、1人1本（片側のみ）のオールしか与えられていないこと。1人だけが頑張ってもまっすぐ速く進むことはできません。また、漕ぎ手は後ろ向きに進行するために、コックスの指示だけを頼りに漕ぎます。漕ぎ手4人が互いの動きを尊重し合うこと、コックスと漕ぎ手が信頼し合うことなど、チームワーク作りや信頼関係構築のために必要となる要素が詰まっています。

心のふれあう民泊体験

心を1つにするボート体験

今、子どもたちは家族や仲間をはじめ周囲の人へ、自分を伝えることに不器用になっているのではないでしょうか。ボート体験を通して、上手に仲間に頼る術を学び、お互いに求められる喜びを体感することは、生きていく上で必ず役に立つことと思われます。

「若狭美浜はあとふる体験」は、どのプログラムのインストラクターも、自分たちの生き方や考え方を伝え、交流を高めたいと考えています。一生の思い出に残る修学旅行の中で、しっかりと地面に足をつけて暮らしている大人たちの生き方に触れることは、子どもたちが卒業後の進路を考える時に大きな指針となることでしょう。

特産品「へしこ」を使った料理体験も人気

NPO法人はあとふる美浜ネットワーク
〒919-1122　福井県三方郡美浜町松原35-16-18
TEL 0770-32-2222　FAX 0770-32-2239
E-mail:wakasamihama@kl.mmnet-ai.ne.jp
URL:http://heartful-mihama.com/

## 滋賀県・琵琶湖近江

# 心の豊かさ目指し交流体験

### びわ湖・近江路ふる里体験

びわ湖・近江路観光圏協議会（彦根市、長浜市、東近江市、米原市、日野町、竜王町、愛荘町、豊郷町、甲良町、多賀町）では、琵琶湖を取り巻く湖北から湖東にかけてのフィールドで、〝ほんもの〟にこだわった体験交流型教育旅行の受け入れを行っています。圏域は琵琶湖と近江盆地、それを取り巻く伊吹・鈴鹿山系に囲まれた地域で、豊かな自然と農村風景が広がります。また、古代から京阪神、中京、北陸の結節点として栄え、多くの戦国ドラマの舞台となった地域であり、多くの文化が花開いた地域でもあります。

農村部では農業が、山の麓では林業が、琵琶湖の畔では漁業が、それぞれに長い歴史を持つ生業として息づいています。

また、「売り手よし　買い手よし　世間よし」の「三方よし」の理念を持った近江商人発祥の地でもある当地域には旅人を心からお迎えする「おもてなし」の精神が人々の心に根づいています。

びわ湖・近江路ふる里体験では農林漁業の生業とともに、人々の暮らしの中で培われた自然や歴史、文化、地域行事、匠の技などが豊富にあり、これらを活用した体験交流プログラムを整備し、受け入れを行っています。

また、圏域は京阪神からのアクセスに非常に恵まれています。とりわけ、京都駅からわずか1時間半～2時間程度で、高速道路を利用して圏域のどの地域へもバスで移動することができます。

**◆農村生活（民泊）体験**

農山漁村（ふるさと）体験は農林漁業の生業とともの魅力は、何と言っても人と人とのかかわりとつながりの中で成り立っていることです。同じ空間で日々の暮らしを営み、お互いに助け合っているのが〝ふるさと〟なので、ドラゴンカヌー体験では琵琶湖に直に接しながら力を合わせることの難しさや喜びを感じ、チームワークの大切さを学びます。

**◆森林間伐体験**

環境問題が地球規模の課題となっています。森林間伐体験を通して、森林の果たす水源涵養と健全な木の生育促進、地球温暖化防止、豊かな森づくりなど森林の役割と間伐の必要性を学び、自然環境に対する関心を高めます。

民泊先での夕食づくり

畑作業体験

稲刈り体験

漁業体験

ドラゴンカヌー体験

スキー体験

近江屋ツアーセンター
担当者 所長 田渕正人
〒526-0059　滋賀県長浜市元浜町14-12
TEL 0749-65-0370　FAX 0749-65-0380
E-mail:info@ohmiji.jp

## 滋賀県・近江日野

# 三方よし！近江日野田舎体験

### 150軒の農村民泊で心温まる、心高まる

私たちの町、近江の国（滋賀県）日野町は、江戸時代に行商で富を成した近江日野商人を輩出した町です。近江商人は「売り手よし　買い手よし　世間よし」の「三方よし」の精神で商いを営み、富を築きながらも、常に社会への還元を忘れませんでした。

三方よし！近江日野田舎体験は、この三方よしの精神にならい、「迎えるもの（売り手）に自信と誇りの回復を！　地域（世間）に活力を！　訪れる人々（買い手）に心からの感動を！」を合言葉に、近江日野田舎体験にかかわる人々に体験を通した心温まる、そして、心高まる交流をお届けします。

日野町は、県の南東部、鈴鹿山系の西麓にある人口2万3千人の町で、京野菜の1つ日野菜の原産地として、また、戦国の武将・蒲生氏郷公の出生地としても知られています。新名神高速甲賀土山インターから20分、名神高速竜王インター、八日市インターからもそれぞれ20分、京都から1時間、名古屋からでも1時間30分で来られるなど、交通アクセスにも大変恵まれています。

**お勧めプログラム**

近江日野田舎体験お勧めの体験プログラムは、農村生活体験（民泊）です。民泊家庭は150軒を数え、1軒3、4人の生活体験を通して、人と人、人と自然とのかかわりの大切さ、人の温もり、そして、次代を担う子どもたちの生きる力を育んでいただく機会として提供しています。

**家業おまかせプラン**

受け入れ家庭の家業、生業、農村の営みをそのまま体験できる「家業おまかせプラン」は、受け入れ家庭の人と常に一緒に体験交流することで、より心の交流が深まるとの評価をいただいています。さまざまな体験ツールを受け入れ家庭ごとに組み合わせることから、1軒ずつ内容もスケジュールも異なります。いわば、受け入れ家庭の軒数分の体験と交流が存在するということであり、貴重な経験となります。

近江日野に住む者がこの地に生きる理由、誇りを語り、伝え、訪れる側、迎える側それぞれの人々が、自分と自分を取り巻く人々を認め、自分が存在することの意義、価値に気付き、明日の生きる力を得ることができる、人と心が高まる旅「三方よし！近江日野田舎体験」へのお越しをお待ちしています。

共通体験と交流からうまれる感動

玉ねぎの収穫

野生獣の追い払い

田植え後の草とり作業

三方よし！近江日野田舎体験推進協議会
担当：福本修一
〒529-1698　滋賀県蒲生郡日野町河原1-1
日野町商工観光課内
TEL 0748-52-6562　FAX 0748-52-2043
E-mail:kankou@town.shiga-hino.lg.jp

## 和歌山県・日置川

# ほんまもんの感動体験で心を豊かに

### 海かがやき　山ひびく　清流日置川の里

和歌山県白浜町日置川地域は、山、川、海と三拍子そろった「ほんまもん体験」の里。温暖で、恵まれた自然の中で営む農林漁業、脈々と受け継がれ育まれてきた生活文化、そこで暮らす穏やかで温かい人々が体験リーダーであり、民泊の担い手です。

南紀州交流公社では、ありのままの暮らしや生業の中で、技術や知識を伝え、地域の誇りや自分の生き様、体験プログラムの物語を伝え、体験交流を通して、互いに感動し心高まる旅となるよう努めています。

**■日置川エリアの体験交流で人と人のかかわりを学ぶ**

**農林漁家生活体験（民泊）**

協力家庭数　100軒×4＝400人

一地域で民泊受入協力家庭が100軒。400人の受け入れが可能。

**山・川・海エリアに幅広く分布し、多様性があり、対面式会場（地域の中央）から左右へ30分圏内。民泊での家業体験は、ところてん作りをはじめ、石鹸作り、農作業など生活に根ざした多様な体験メニューがあり、生徒をお客さまとしてではなく、家族の一員としてお迎えし、一緒に笑い、時には叱ります。そのすべてに体験交流としての価値があり、互いに協力しあい人間関係構築力を高めることを大切にしています。**

**安全で教育効果の高い受け入れ実施のため、シーズン初めには保健所、消防署、警察署による講習会を開催、「民泊受入マニュアル」を配布、防災対策と衛生対策の指導責任者を置き、安全管理、衛生管理を徹底。また「インストラクター研修会」や「民泊受入講習会」を随時開催し、会員の資質の向上を図るとともに、簡易宿所営業許可を順次取得中です。**

**食事は、なるべく自家食材とし食材を採りにいくことから始め、新鮮な野菜や魚が「ほんものの味」を教え、生徒たちは、日本の伝統料理のおいしさに気付きます。共同調理で初めて経験する魚さばきに感動したり、野菜のみじん切りができるようになったと喜んだり、食事作りは楽しい体験交流の場となります。**

**1泊、2泊の農林漁家生活体験を終え、「まだ帰りたくない」と言って涙ぐむ生徒たちとの別れがつらく、お別れ式は互いの心の高まりを最高に感じるひと時です。担い手の80代のおばあちゃんは「若い方たちとの交流に目覚めました。次もまた楽しみ」と畑の手入れをしています。**

**民宿での分宿**

地域内には10軒の民宿があり、クラス別や男女別で分宿できます。

**■お勧め「ほんまもん体験」**

農林漁業、伝統工芸、歴史文化、味覚体験など40種目あり、和歌山らしい体験プログラムが地域内でそろいます。民泊や民宿泊と組み合わせるとより効果的です。

**紀州備長炭の作業体験**

県の無形文化財である紀州備長炭作りを通し、自然との共生や人々の知恵、伝統産業を学びます。「窯出し」は、1300度の熱い炎との闘い。

**林業間伐体験**

紀州木の国で山を守り育てる間伐作業。のこぎりを使って木を倒し、危機管理も学習します。

**リバーカヌー体験**

川底の石まではっきり見える県立自然公園、清流日置川をカヌーツーリング。野趣あふれる日置川での感動体験です。

**■アクセス**

新大阪からバスで約3時間。特急くろしお号で京都～白浜間が3時間弱、新大阪～白浜間が約2時間半。

もう一度行きたくなる感動体験「南紀州ほんまもん体験」に地域一丸となって取り組み、皆さまのお越しをお待ちしております。

清流日置川でカヌー体験

民泊先の家業を体験

備長炭作業体験

間伐の作業

民泊先での料理のひとコマ

一般社団法人　南紀州交流公社
（旧大好き日置川の会）
〒649-2532　和歌山県西牟婁郡白浜町安居306-1
TEL 0739-53-0055　FAX 0739-53-0055
E-mail:minamikishu@samba.ocn.ne.jp
URL http://www.daisuki-hikigawa.com/